

地域とともに育つ一小の子どもたち

明倫



夏休み期間中の八月二十一日から三日間、学校運営協議会「ふれあい学習会」を実施しました。学習会では、地域の方々が子どもたち一人一人の様子に目を配り、分からないところを丁寧に教えたり、励ましの声をかけたりする姿が多く見られました。ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

九月から毎月学力充実タイムにおいて、地域の皆様による〇付けボランティアを実施しました。子どもたちは、自分の解答を一枚一枚見ていただきながら、正しくできたことを認めてもらい、間違えたところはその場で声をかけてもらうことで、次の学習への意欲を高めていました。



令和 7 年度
第 6 号
文責 大塚真史



毎年、六年生が一小元気の会の皆様とともに実施している地域行事「音と光の祭典」が開催されました。本校六年生は、企画から準備、当日の運営まで主体的に参画し、地域の方々と力を合わせて行事を作り上げました。子どもたちの成長と、地域とのつながりを感じた行事となりました。



荒尾地区協議会主催によるレクリエーション大会が、十月二十六日に、本校運動場で開催されました。校区内の各地区から、幼児からお年寄りまで多くの方が集い、体を動かしたり、昼食をとるにしたりしながら、楽しいひとときを過ごしました。



九月三十日に開催された第二回学校運営協議会では、児童会の各委員長が参加し、学校や地域で行う行事等について熟議を行いました。子どもたちは、日頃の学校生活の中で感じていることや、自分たちの思いを自分の言葉で伝え、大人たちの意見にも真剣に耳を傾けていました。

一年生が、地域のお年寄りの皆様に昔の遊びを教えていただく「伝承遊び」体験を行いました。あやとりや竹とんぼ、けん玉、お手玉、コマなど、たくさん遊びに笑顔があふれました。



一小PTA主催による「第二回一小まつり」が開催されました。当日は、ステージ発表やマールシェ、キッチンカーなどが並び、校内は多くの笑顔であふれました。およそ千人の方々が来場し、学校と地域のつながりを改めて感じる一日となりました。